

9月28日・10月6日、原村の田舎暮らし情報館で移住交流支援友の会『やまぼうしの風』が『まるごと原村見学ツアー』を開催。

関東、関西、そして県内から

原村ついでななとじん? 終の棲家ご訪問?

と両日総勢、16組29名がこのツアーに参加した



Rural Relocation Vol.40

八ヶ岳の見えるおそば屋さんで昼食 (10/6)



今年はキノコがよく採れるようで、両日ともキノコ狩りが楽しめた。立派な唐松じこぼうを手に驚きながらの喜び笑顔♪



と想いを寄せていた。ぶり使った家造りに「いつか私も」と

が、このツアーの人の秘密だ。

売地の見学では標高1000mから1200m位の別荘地や原野を見学。晴天に恵まれ八ヶ岳はも

ちろん、遠くの山々の眺めも良かった。黄金に輝く稲刈り秒読みの田の向こうに3000m級の山々、槍ヶ岳や穂高連峰は最高に美しい眺めだ。部屋からそれらを望む暮らしが理想の人が多い。原村での田舎暮らしは山の眺望がご馳走のようだ。

当初このツアーは9月28日のみ予約がぐんぐんと増し、あつと言間に定員を超えたことから一度は締め切った募集だが、急遽10月6日も実施を決定。

移住の先輩方のお宅訪問では、冬の寒さや薪ストーブが話題に上がった。積んである薪を指さし「ひと冬であれ全部使っちゃうんですか?」や、その手配などの質問がされた。また手入れの行き届いた庭や畑に感心し憧れを抱く人も。

田舎体験として、28日は『森の小径ウォーキング』、6日は『焼き芋会』を行った。森の小径ウォーキングは、八ヶ岳自然文化園から八ヶ岳農業実践大学校までのチップが敷き詰められた道1kmを移住の先輩とバディーを組んで歩いた。バディーを組むことでフレンドリーに会話弾み、初対面とは思えない交流ぶりでお互い楽しめたようだ。



桜の紅葉が始まっている八ヶ岳農場 (9/28)